

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区

計画書

【変更（区域縮小）及び存続期間の更新】

令和 5年 3月 30日

環 境 省

1 国指定鳥獣保護区の概要

(1) 国指定鳥獣保護区の名称

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区

(2) 国指定鳥獣保護区の区域

北海道浜頓別町所在旧国鉄山軽駅跡北西の北オホーツクサイクリングロードと町道山軽旧国道第2工区線との交点を起点とし、同所から同町道を北進し猿払村と浜頓別町の境界線との交点に至り、同所から同境界線を南東に進み国道238号線との交点に至り、同所から同国道を南東に進み町道山軽旧国道第1工区線との交点に至り、同所から同町道を西進し北オホーツク道立公園（昭和43年5月北海道告示962号）境界線との交点に至り、同所から同境界線を字クッチャロ湖畔の地番界との交点に至り、同所から同地番界を町道クッチャロ湖畔5号線との交点に至り、同所から同町道を南に進み町道クッチャロ湖畔1号線との交点に至り、同所から地番界を南に進み地番界見通線と北オホーツク道立自然公園境界線との交点に至り、同所から同境界線を国有林野境界に沿って進み起点に至る線に囲まれた区域。

(3) 国指定鳥獣保護区の存続期間

令和5（2023）年3月31日から令和25（2043）年3月30日まで（20年間）

2 国指定鳥獣保護区の保護に関する指針

(1) 国指定鳥獣保護区の指定区分

集団渡来地の保護区

(2) 国指定鳥獣保護区の指定目的

当該区域は北海道北部浜頓別町にあるオホーツク海岸線最大の海跡湖であり、冬季にロシア極東部から南下するハクチョウ類及びガンカモ類の最初の国内渡来地として重要である。春季・秋季には渡りの中継地としてハクチョウ類が約6,000羽飛来する。湖及びその周辺が鳥獣保護区に指定されており、水面及び湖岸が特別保護地区に指定されている。

当該特別保護地区は、平成元（1989）年に大規模ガンカモ飛来地としてラムサール条約湿地に登録されており、また、平成11（1999）年には、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク（ガンカモ類）に参加する等、湿地・水鳥保全に係る国際的な枠組みへの地域主導の積極的な参画がみられる。

以上のとおり、当該区域は集団渡来地としての環境を適正に保護する必要があることから、集団渡来地の保護区として、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第1項に規定する鳥獣保護区に引き続き指定し、当該区域に生息する鳥獣の保護を図るものである。

(3) 管理方針

- 1) 集団渡来地の保護区として、ハクチョウ類、ガンカモ類等、多様な鳥類相を保護するため適切な管理に努める。
- 2) 国指定鳥獣保護区管理員等による鳥類のモニタリング調査等を通じて、当該区域内の鳥類の生息状況の把握に努める。
- 3) 鳥類に対する餌付け、不用意に鳥類を驚かすような行動、ごみの散乱等による鳥類の生息への影響を防止するため、関係地方公共団体、関係機関等と連携協力して利用者及び地域住民への普及啓発を行う。
- 4) 当該区域周辺で特定外来生物であるアライグマ等が確認されていることから、外来生物の生息状況を把握し、必要な対策を進めていく。

3 国指定鳥獣保護区の面積内訳

別表1のとおり。

4 当該区域における鳥獣の生息状況

(1) 当該区域の概要

ア 国指定鳥獣保護区の位置

クッチャロ湖は、浜頓別町の北西部に位置し、南部の大沼と北部の小沼からなる周囲 30km、面積 1,402ha の道北最大の湖である。また、海岸砂丘地で海と隔てられたオホーツク海岸線最大の海跡湖でもある。

イ 地形、地質等

クッチャロ湖低地は泥炭地が分布し、北方の浅茅野台地、南方の浜頓別台地、西方の山地及び丘陵地と極めて緩やかな傾斜で囲まれている。地質は主に第四紀層、西方は第三紀層、中位泥炭、低位泥炭が分布している。

ウ 植物相の概要

北部にはエゾマツ、トドマツ、アカエゾマツを主体とする針葉樹林が分布する。湖岸のヨシ・スゲで構成される低層湿原に移行する植生の帯状変化が見られる。西部にはハンノキなどの湿地林が発達し、南部にはヨシ群落が発達している。

エ 動物相の概要

鳥類については、コハクチョウやガンカモ類等の水鳥類の重要な渡りの中継地となっているほか、四季を通じて多様な鳥類相となっており、これまで 303 種が確認されている。その中には、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）の規定に基づく国内希少野生動植物種に指定されているオジロワシ、オオワシ、チュウヒなどが含まれ、文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）に基づく天然記念物に指定されているヒシクイ、マガンなどもみられる。

獣類は、エゾユキウサギ、キタキツネ、エゾシカ等 26 種が確認されている。近年、エゾヒグマの目撃情報やエゾシカの個体数が増加している。

(2) 生息する鳥獣類

ア 鳥類

別表2のとおり。

イ 獣類

別表3のとおり。

(3) 当該区域の農林水産物の被害状況

当該区域は、水面、山林、原野を主とした湿地帯で、農地は一部に限られており農業に対する特段の被害はみられない。また、鳥獣による水産業被害はない。ただし、宗谷地方を広域的にみると、エゾシカによる草地の食害被害が多く発生している。

当該区域内においては、現時点では農業被害防止目的の捕獲は実施されていない。周辺を含む町内全域ではアライグマやエゾシカ等の捕獲実績がある。今後、鳥獣保護区内において農林業被害が生じた場合は、必要性を十分に検討したうえで鳥獣捕獲許可などの対応を行う。

5 施設整備に関する事項

(1) 鳥獣保護区用制札	12本
(2) 特別保護地区用制札	9本
(3) 案内板	6基

6 存続期間の更新の理由

当該区域については、特別保護地区がラムサール条約湿地にも登録されていることを踏まえ、ハクチョウ類やガンカモ類の飛来地として環境を保全するため、引き続き鳥獣保護区として更新する必要がある。

7 参考事項

(1) 当初指定

昭和58(1983)年3月31日(昭和58年3月28日告示第25号)

(2) 経緯

平成15(2003)年3月31日(平成14年10月3日告示第72号)

区域表示の変更・存続期間の更新

別表1 国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区（浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区特別保護地区）の面積内訳

◆形態別面積内訳

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積
総面積	2,803 ha	-65 ha	2,738 ha	1,607 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
林野	638	0	638	40					
農耕地	85	-1	84						
水面	1,425	0	1,425	1,402					
その他	655	-64	591	165					

◆所有別面積内訳

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積
国有地(陸域)	549 ha	0 ha	549 ha	205 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
国有林									
林野庁所管									
制限林									
保安林	(361)	0	359	40					
砂防指定地									
その他	(0)								
普通林	2	0	2						
文部科学省所管									
国有林以外の国有地	188	0	188	165					
環境省所管									
地方公共団体所有地	138 ha	-46 ha	92 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
都道府県有									
制限林地									
保安林									
砂防指定地									
その他									
普通林地									
その他									
市町村所有地等									
制限林地									
保安林									
砂防指定地									
その他									
普通林地	3	0	3						
その他	135	-46	89						
私有地等	691 ha	-19 ha	672 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
制限林地									
保安林	37	0	37						
砂防指定地									
その他									
普通林地	237	0	237						
その他	417	-19	398						
公有水面	1,425 ha	0 ha	1,425 ha	1,402 ha	ha	ha	ha	ha	ha
林野庁所管	23	0	23						
浜頓別町所管	1,402	0	1,402	1,402					
計	2,803 ha	-65 ha	2,738 ha	1,607 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha

◆他法令による規制区域

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積
自然環境保全法による地域	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	ha	0 ha	ha	ha
特別地域									
普通地域									
自然公園法による地域	2,696 ha	-65 ha	2,631 ha	1,607 ha	0 ha	ha	0 ha	ha	ha
特別保護地区									
特別地域	2,696	-65	2,631	1,607					
普通地域									
文化財保護法による地域	3 ha	-2 ha	1 ha	0 ha	0 ha	ha	0 ha	ha	ha

(注)

1. ヘクタール単位とし、原則として小数点以下を四捨五入する。
2. 面積の精査により、数値の変更があった場合は、精査前の面積を既存面積の項に()書きで上段に記載する。
3. 「形態別内訳」の水面については、干潟の面積を内数で()書きで記入する。
4. 「所有者別内訳」の保安林については、森林法第25条第1項各号の目的別に面積を記載する。
5. 「他の法令による規制区域」については、自然環境保全法に基づく指定地域(国指定自然環境保全地域及び都道府県指定自然環境保全地域)、自然公園法に基づく指定地域(国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園)、文化財保護法に基づき区域指定地域されている地域のいずれかに該当する場合に、それら規制区域ごとに名称と面積を記入する。

別表2 鳥類リスト

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区(浜頓別クッチャロ湖特別保護地区)

No.	目	科	種または亜種	種の指定等	備考
1	キジ	キジ	エゾライチョウ	DD	留鳥
2			ウズラ	VU	夏鳥
3	カモ	カモ	サカツラガン	DD	旅鳥
4			○ ヒシクイ(亜種ヒシクイ、オオヒシクイ)	VU、国天	旅鳥
5			ハイロガン		迷鳥
6			○ マガン	NT、国天	旅鳥
7			カリガネ	EN	旅鳥
8			ハクガン	CR	冬鳥
9			シジュウカラガン	CR、国内希少	旅鳥
10			コクガン	VU、国天	旅鳥
11			コブハクチョウ		留鳥
12			○ コハクチョウ		旅鳥
13			ナキハクチョウ		迷鳥
14			○ オオハクチョウ		旅鳥
15			オシドリ	DD	夏鳥
16			オカヨシガモ		旅鳥
17			ヨシガモ		夏鳥
18			○ ヒドリガモ		冬鳥
19			アメリカヒドリ		旅鳥
20			○ マガモ		留鳥
21			カルガモ		夏鳥
22			○ ハシビロガモ		旅鳥
23			○ オナガガモ		旅鳥
24			シマアジ		夏鳥
25			トモエガモ	VU	冬鳥
26			○ コガモ		冬鳥
27			オオホシハジロ		旅鳥
28			ホシハジロ		旅鳥
29			アカハジロ	DD	冬鳥
30			○ キンクロハジロ		留鳥
31			○ スズガモ		旅鳥
32			シノリガモ	LP	冬鳥
33			アラナミキンクロ		冬鳥
34			ビロードキンクロ		冬鳥
35			クロガモ		冬鳥
36			コオリガモ		冬鳥
37			○ ホオジロガモ		冬鳥
38			○ ミコアイサ		冬鳥
39			○ カワアイサ		留鳥
40			○ ウミアイサ		旅鳥
41			コウライアイサ	国際希少	冬鳥
42	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ		夏鳥
43			アカエリカイツブリ		夏鳥
44			○ カンムリカイツブリ		冬鳥
45			ミミカイツブリ		冬鳥
46			○ ハジロカイツブリ		冬鳥
47	ハト	ハト	○ キジバト		夏鳥
48			○ アオバト		夏鳥
49			○ シラコバト	EN	留鳥
50	アビ	アビ	アビ		冬鳥
51			オオハム		冬鳥
52			シロエリオオハム		冬鳥
53			ハシジロアビ		冬鳥
54	ミズナギドリ	ミズナギドリ	フルマカモメ		留鳥
55			オオミズナギドリ		夏鳥
56			ハシボソミズナギドリ		旅鳥
57			アカアシミズナギドリ		旅鳥
58		ウミツバメ	コシジロウミツバメ		夏鳥
59			ハイイロウミツバメ		冬鳥
60	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	CR、国内希少、特天	夏鳥
61	カツオドリ	ウ	ヒメウ	EN	留鳥
62			チシマウガラス	CR、国内希少	留鳥
63			○ カワウ		夏鳥
64			ウミウ		留鳥
65	ペリカン	サギ	サンカノゴイ	EN、国内希少	夏鳥
66			ヨシゴイ	NT	夏鳥
67			オオヨシゴイ	CR、国内希少	夏鳥
68			ゴイサギ		夏鳥
69			アマサギ		夏鳥
70			○ アオサギ		夏鳥

別表2 鳥類リスト

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区(浜頓別クッチャロ湖特別保護地区)

No.	目	科	種または亜種	種の指定等	備考
71			ムラサキサギ		迷鳥
72			○ ダイサギ		夏鳥
73			チュウサギ	NT	夏鳥
74			コサギ		夏鳥
75			カラシラサギ	NT	迷鳥
76		トキ	ヘラサギ	DD	迷鳥
77			クロツラヘラサギ	EN、国内希少	旅鳥
78	ツル	ツル	ソデグロツル	国際希少	冬鳥
79			カナダツル		迷鳥
80			マナツル	VU、国際希少	迷鳥
81			○ タンチョウ	VU、国内希少、特天	留鳥
82			ナベツル	VU、国際希少	迷鳥
83		クイナ	クイナ		夏鳥
84			ヒメクイナ		旅鳥
85			ヒクイナ	NT	夏鳥
86			バン		夏鳥
87			オオバン		夏鳥
88	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ		夏鳥
89			○ ツツドリ		夏鳥
90			○ カッコウ		夏鳥
91	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	NT	夏鳥
92	アマツバメ	アマツバメ	○ ハリオアマツバメ		夏鳥
93			アマツバメ		夏鳥
94	チドリ	チドリ	タゲリ		旅鳥
95			ケリ	DD	迷鳥
96			ムナグロ		旅鳥
97			ダイゼン		旅鳥
98			イカルチドリ		夏鳥
99			コチドリ		夏鳥
100			シロチドリ	VU	留鳥
101			メダイチドリ	国際希少	旅鳥
102		セイタカシギ	セイタカシギ	VU	夏鳥
103		シギ	○ ヤマシギ		夏鳥
104			○ オオジシギ	NT	夏鳥
105			タシギ		旅鳥
106			オグロシギ		旅鳥
107			オオソリハシシギ	VU	旅鳥
108			チュウシヤクシギ		旅鳥
109			ダイシヤクシギ		旅鳥
110			ホウロクシギ	VU、国際希少	旅鳥
111			ツルシギ	VU	旅鳥
112			アカアシシギ	VU	旅鳥
113			○ アオアシシギ		旅鳥
114			コキアシシギ		旅鳥
115			クサシギ		旅鳥
116			タカブシギ	VU	旅鳥
117			○ キアシシギ		旅鳥
118			○ ソリハシシギ		旅鳥
119			○ イソシギ		夏鳥
120			キョウジョシギ		旅鳥
121			ミユビシギ		旅鳥
122			○ トウネン		旅鳥
123			ヒバリシギ		旅鳥
124			ウズラシギ		旅鳥
125			サルハマシギ	国際希少	旅鳥
126			ハマシギ	NT	旅鳥
127			ヘラシギ	CR、国内希少	旅鳥
128			キリアイ		旅鳥
129			エリマキシギ		旅鳥
130			○ アカエリヒレアシギ		旅鳥
131			ハイイロヒレアシギ		旅鳥
132		カモメ	ミツユビカモメ		冬鳥
133			ゾウゲカモメ		迷鳥
134			ヒメクビワカモメ		冬鳥
135			○ ユリカモメ		旅鳥
136			ズグロカモメ	VU	冬鳥
137			○ ウミネコ		夏鳥
138			○ カモメ		冬鳥
139			ワシカモメ		冬鳥
140			○ シロカモメ		冬鳥
141			○ セグロカモメ		冬鳥

別表2 鳥類リスト

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区(浜頓別クッチャロ湖特別保護地区)

No.	目	科	種または亜種	種の指定等	備考
142			○ オオセグロカモメ	NT	留鳥
143			コアジサシ	VU、国際希少	迷鳥
144			○ アジサシ		旅鳥
145			クロハラアジサシ		迷鳥
146		トウゾクカモメ	トウゾクカモメ		旅鳥
147		ウミスズメ	ハシブトウミガラス		冬鳥
148			ウミガラス	CR、国内希少	旅鳥
149			ケイマフリ	VU	留鳥
150			マダラウミスズメ	DD	冬鳥
151			ウミスズメ	CR	冬鳥
152			カンムリウミスズメ	VU、国天	旅鳥
153			コウミスズメ		冬鳥
154			エトロフウミスズメ		冬鳥
155			ウトウ		冬鳥
156			エトピリカ	CR、国内希少	冬鳥
157	タカ	ミサゴ	○ ミサゴ	NT	夏鳥
158		タカ	ハチクマ	NT	夏鳥
159			○ トビ		留鳥
160			○ オジロワシ	VU、国内希少、国天	留鳥
161			○ オオワシ	VU、国内希少、国天	冬鳥
162			クロハゲワシ		迷鳥
163			○ チュウヒ	EN、国内希少	夏鳥
164			ハイイロチュウヒ		冬鳥
165			○ ツミ		夏鳥
166			○ ハイタカ	NT	夏鳥
167			○ オオタカ	NT	夏鳥
168			○ ノスリ		留鳥
169			ケアシノスリ		冬鳥
170			クマタカ	EN、国内希少	留鳥
171	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク		夏鳥
172			コノハズク		夏鳥
173			シロフクロウ		冬鳥
174			ワシミズク	CR、国内希少	迷鳥
175			○ フクロウ		留鳥
176			キンメフクロウ	CR	冬鳥
177			アオバズク		夏鳥
178			トラフズク		夏鳥
179			コミミズク		冬鳥
180	サイチョウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ		旅鳥
181	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン		夏鳥
182			ヤマショウビン		迷鳥
183			○ カワセミ		夏鳥
184			ヤマセミ		留鳥
185	キツツキ	キツツキ	アリスイ		夏鳥
186			○ コゲラ		留鳥
187			コアカゲラ		留鳥
188			オオアカゲラ		留鳥
189			○ アカゲラ		留鳥
190			クマゲラ	VU、国天	留鳥
191			○ ヤマゲラ		留鳥
192	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ		冬鳥
193			アカアシチョウゲンボウ		迷鳥
194			コチョウゲンボウ		冬鳥
195			チゴハヤブサ		夏鳥
196			シロハヤブサ	国際希少	冬鳥
197			ハヤブサ	VU、国内希少	留鳥
198	スズメ	モズ	チゴモズ	CR	迷鳥
199			○ モズ		夏鳥
200			アカモズ	EN、国内希少	夏鳥
201			オオモズ		冬鳥
202		カラス	○ カケス		留鳥
203			ホシガラス		留鳥
204			コクマルガラス		冬鳥
205			ミヤマガラス		冬鳥
206			○ ハシボソガラス		留鳥
207			○ ハシブトガラス		留鳥
208			ワタリガラス		冬鳥
209		キクイタダキ	○ キクイタダキ		留鳥
210		シジュウカラ	○ ハシブトガラ		留鳥
211			コガラ		留鳥

別表2 鳥類リスト

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区(浜頓別クッチャロ湖特別保護地区)

No.	目	科	種または亜種	種の指定等	備考
212			○ ヒガラ		留鳥
213			ヤマガラ		留鳥
214			○ シジュウカラ		留鳥
215	ヒバリ		○ ヒバリ		夏鳥
216			ハマヒバリ		冬鳥
217	ツバメ		○ ショウドウツバメ		夏鳥
218			コシアカツバメ		夏鳥
219			ツバメ		夏鳥
220			イワツバメ		夏鳥
221	ヒヨドリ		○ ヒヨドリ		留鳥
222	ウグイス		○ ウグイス		夏鳥
223			ヤブサメ		夏鳥
224	エナガ		○ エナガ		留鳥
225	ムシクイ		カラフトムジセッカ		旅鳥
226			カラフトムシクイ		旅鳥
227			○ オオムシクイ	DD	旅鳥
228			エゾムシクイ		夏鳥
229			○ センダイムシクイ		夏鳥
230	メジロ		メジロ		夏鳥
231	センニュウ		マキノセンニュウ	NT	夏鳥
232			○ シマセンニュウ		夏鳥
233			シベリアセンニュウ		迷鳥
234			○ エゾセンニュウ		夏鳥
235	ヨシキリ		オオヨシキリ		夏鳥
236			○ コヨシキリ		夏鳥
237	レンジャク		○ キレンジャク		旅鳥
238			ヒレンジャク		旅鳥
239	ゴジュウカラ		○ ゴジュウカラ		留鳥
240	キバシリ		○ キバシリ		留鳥
241	ミソサザイ		ミソサザイ		留鳥
242	ムクドリ		○ ムクドリ		夏鳥
243			○ コムクドリ		夏鳥
244	カワガラス		カワガラス		留鳥
245	ヒタキ		マミジロ		夏鳥
246			トラツグミ		夏鳥
247			クロツグミ		夏鳥
248			○ マミチャジナイ		旅鳥
249			○ シロハラ		旅鳥
250			○ アカハラ		夏鳥
251			○ ツグミ		冬鳥
252			○ コマドリ		夏鳥
253			○ ノゴマ		夏鳥
254			○ コルリ		夏鳥
255			○ ルリビタキ		夏鳥
256			ジョウビタキ		冬鳥
257			○ ノビタキ		夏鳥
258			ハシグロヒタキ		旅鳥
259			イソヒヨドリ		夏鳥
260			ヒメインヒヨ		迷鳥
261			エゾビタキ		旅鳥
262			サメビタキ		夏鳥
263			コサメビタキ		夏鳥
264			マミジロキビタキ		旅鳥
265			キビタキ		夏鳥
266			ムギマキ		旅鳥
267			オジロビタキ		旅鳥
268			オオルリ		夏鳥
269	イワヒバリ		ヤマヒバリ		旅鳥
270	スズメ		○ ニュウナイスズメ		夏鳥
271			○ スズメ		留鳥
272	セキレイ		ツメナガセキレイ		旅鳥
273			キセキレイ		夏鳥
274			○ ハクセキレイ		夏鳥
275			セグロセキレイ		夏鳥
276			○ ピンズイ		夏鳥
277			セジロタヒバリ		旅鳥
278			タヒバリ		旅鳥
279	アトリ		○ アトリ		旅鳥
280			○ カワラヒワ		夏鳥
281			○ マヒワ		留鳥
282			ベニヒワ		冬鳥

別表2 鳥類リスト

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区(浜頓別クッチャロ湖特別保護地区)

No.	目	科	種または亜種	種の指定等	備考
283			ハギマシコ		冬鳥
284		○	ベニマシコ		夏鳥
285			オオマシコ		冬鳥
286			ギンザンマシコ		冬鳥
287			イスカ		留鳥
288			ナキイスカ		冬鳥
289		○	ウソ		留鳥
290		○	シメ		夏鳥
291			イカル		夏鳥
292		ツメナガホオジロ	ユキホオジロ		冬鳥
293		ホオジロ	シラガホオジロ		旅鳥
294			ホオジロ		夏鳥
295			ホオアカ		夏鳥
296			コホオアカ		冬鳥
297			キマユホオジロ		迷鳥
298		○	カシラダカ		旅鳥
299			ミヤマホオジロ		冬鳥
300			シマアオジ	CR、国内希少	夏鳥
301		○	アオジ		夏鳥
302		○	クロジ		夏鳥
303		○	オオジュリン		夏鳥
合計	21 目	55 科			303 種

(注)

- データは過年度の環境省クッチャロ湖関連の報告書および専門家による個人記録(浜頓別町提供)に拠った。
- 鳥類の目・科・種(和名)及び配列は、主に日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会, 2012年)に拠った。
- 獣類の目・科・種(和名)及び配列は、主に河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省, 2021年)に拠った。
- 種の指定等の要件は次の通りである。

環境省レッドリスト2020(環境省, 2020年)

CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
 国内希少: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種
 国際希少: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少野生動植物種
 国天: 文化財保護法による天然記念物
 特天: 文化財保護法による特別天然記念物

- 印: 当該区域において一般的に見られる鳥獣

アンダーライン: 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第2条第4項に規定する希少鳥獣又は天然記念物に指定された鳥獣

- 備考欄には、鳥類については、留鳥、夏鳥、冬鳥、旅鳥または迷鳥の別を記載した。

別表3 獣類リスト

国指定浜頓別クッチャロ湖鳥獣保護区(浜頓別クッチャロ湖特別保護地区)

No.	目	科	種または亜種	種の指定等	備考			
1	モグラ	トガリネズミ	○ オオアシトガリネズミ					
2	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ					
3			ドーベントンコウモリ					
4			ウサギコウモリ					
5			コテングコウモリ					
6			ウサギ	ウサギ	○ エゾユキウサギ			
7	ネズミ	リス	○ エゾリス					
8			○ エゾシマリス	DD				
9			エゾモモンガ					
10			○ エゾヤチネズミ					
11			○ エゾアカネズミ					
12			○ エゾヒメネズミ					
13			ハツカネズミ					
14			ドブネズミ					
15			ネコ	クマ	エゾヒグマ			
16					○ アライグマ			
17					○ エゾタヌキ			
18					○ キタキツネ			
19					イタチ	エゾクロテン	NT	
20					○ イイズナ			
21	エゾオコジョ	NT						
22	○ ミンク							
23	アザラシ	アシカ			トド	NT		
24					アザラシ	ゴマフアザラシ		
25					ワモンアザラシ			
26	ウシ	シカ	○ エゾシカ					
合計	7目	12科	26種					

(注)

- データは過年度の環境省クッチャロ湖関連の報告書および専門家による個人記録(浜頓別町提供)に拠った。
- 鳥類の目・科・種(和名)及び配列は、主に日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会, 2012年)に拠った。
- 獣類の目・科・種(和名)及び配列は、主に河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省, 2021年)に拠った。
- 種の指定等の要件は次の通りである。
環境省レッドリスト2020(環境省, 2020年)
CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
国内希少: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種
国際希少: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少野生動植物種
国天: 文化財保護法による天然記念物
特天: 文化財保護法による特別天然記念物
- 印: 当該区域において一般的に見られる鳥獣
アンダーライン: 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第2条第4項に規定する希少鳥獣又は天然記念物に指定された鳥獣
- 備考欄には、鳥類については、留鳥、夏鳥、冬鳥、旅鳥または迷鳥の別を記載した。